



七宝焼き体験 キーホルダー作り

10日(木)4年生は、七宝焼きアートヴィレッジに出かけ、七宝焼きについての学習と共に、七宝焼き作りを体験してきました。事前に選んだ形の銅版に、各自のデザイン画にしたがって釉薬をのせていきました。約800度の電気の釜の中で1分ほど焼くとできあがりです。後は、温度が下がるのを待って、キーホルダーに仕上げさせていただきます。焼きあがったばかりは黒っぽい物だったのが、温度が下がるにしたがってきれいな赤色に変化するのを見て、子どもたちもびっくり。



…その後、職人さんが銀線を土台に貼り付ける作業やもっと大きな七宝焼きを焼き上げる作業を見せていただきました。銀線を貼り付ける際に使用するのは、シランという花の根元にある部分からとって作った「のり」だそうです。なんと、アートヴィレッジにはたくさんのシランが生えていました。また、作品展示室では、さまざまな七宝焼きを見たり、クイズに挑戦したりしました。

自分たちが住むふるさと七宝の伝統工芸について、多くのことを学ぶことができたひとときでした。

なまず号が来た!!

7月9日(水)全校の子どもたちが、地震体験車に試乗しました。なまず号では、東日本大震災のときのゆれを体験しました。震度7のゆれ方は、とても大きなゆれで、机の脚にしっかりつかまっていないと飛ばされそうです。近い将来、来るであろう東海地震では、震度6強ほどのゆれが予想されています。今回の体験をもとに、どんなときにはどう対応すると良いか、普段からご家族で確認しあっておいてください。



お出迎え、

ありがとうございました

台風8号が近づいていた10日の下校時、学校からは担任のない職員が付き添い下校をしました。メール配信の折に、「都合がつく方は、お出迎えをお願いします」という一文を書いたところ、あちらこちらでお家の方が出迎えをしてくださいました。少ない職員では全員の子どもたちに対応できませんでしたので、本当に助かりました。ありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは無事家に帰ることができました。

福祉実践教室

～ふだんのくらしを しあわせにする～

14日(月)4・5・6年生が、福祉実践教室に参加しました。全体会では、車椅子の講師の方からお話を伺い、自分たちにできることは何かを考えました。障害のある人もない人も、みんなが幸せに暮らすためには「思いやり」の気持ちが大切であると感じました。また、健常者にとっては他の場所を選択することができるが、障害者はそのこしか使えないので、「障害者用の駐車場や多目的トイレが塞がっていると、本当に困ってしまう」という悩みや「手伝うことはありますか?」という声かけが一番うれしいというお話をお聞きし、改めて健常者の責任を再確認しました。

その後、4年生は車椅子体験、5年生は手話の講義、6年生は高齢者疑似体験をしました。今回の体験が、実生活に生かされることを願っています。